

第34回 市民公開健康講座

骨髓移植のおはなし

実際の体験を交えて

市民に広く健康に関する知識や情報を普及啓発することを目的として開催している第34回市民公開健康講座(中外製薬 奈良新聞社共催)が去る2月26日、奈良市学園南3丁目の奈良市西部会館学園ホールで開かれた。市民約100人が参加した。テーマは「骨髓移植のおはなし」実際の体験を交えて、高の原中央病院血液内科部の小林祥子副部長の講演に続いて、日本骨髓バンクに登録して移植体験をしたドナーと患者さんの話をうかがった。



深澤 由里恵氏

南出 弦氏

血液難病者に骨髓移植

高の原中央病院
血液内科部副部長

小林 祥子 氏

骨髓移植とは、白血病や再生不良性貧血などの血液難病の患者さんに、ドナーの正常な骨髓細胞を静脈内に注入して移植する治療です。

問題は適合性で、白血球の血液型であるHLA型が

ドナーと移植対象者との間で適合しないと、骨髓移植ができないというところで、HLAが適合して移植

が可能になる。確率は、同父母の兄弟姉妹間で25%、非血縁者間では数%から数%の1といわれています。

移植に先立って、患者の造血組織および腫瘍化した細胞を根絶するため、大量の抗がん剤

とのおよび放射線照射が行われます。これを前処置とい

います。そのうえで、ドナーの骨髓液を静脈から注入します。2週間ほどドナーの造血幹細胞が生着し、正常な血液を造り出すようになります。

移植の影響として前処置での大量の抗がん剤投与と放射線治療により、小児の場合は成長障害、男女ともに不妊となることが知られています。男性の場合は、移植前に精子を採取して凍結保存することが可能になっています。



移植の影響として前処置での大量の抗がん剤投与と放射線治療により、小児の場合は成長障害、男女ともに不妊となることが知られています。男性の場合は、移植前に精子を採取して凍結保存することが可能になっています。

提供者に感謝し生きる

移植を受けた患者さん 南出 弦さん

私は38歳で、医療ソーシャルワーカーをしています。16年前に骨髓バンクでドナーから骨髓の提供を受けました。ドナーさんのお話を聞いて、

さまざまな人の思いを受け取っているのだという話をあらためて知りました。私は16歳から献血していました。学生時代の22歳のとき、

1999年5月に献血センターから病院で検査を受けるように言われました。白血球やヘモグロビン、血小板が異常だということです。検査の結果は、慢性骨髄性白血病というものでした。私は自分が死ぬかもしれないという恐怖感に襲われました。

私は大病院に入院して抗がん剤治療を受けていました。完治するには骨髓移植しかないと言われました。まず兄のHLA検査が行われましたが、不一致でした。兄は罪悪感にとらわれたように落ち込んでしまいました。

患者にとって、前処置が始まると、もう後戻りできません。ひたすら骨髓液が届くのを待つしかないのです。術前1カ月は、無菌室で過ごしました。ビニールに囲まれた殺菌室です。食事は点滴です。そして、移植そのものは骨髓液を点滴で体内に入れて行われました。後遺症として、生殖能力がなくなる確率が高いのです。

その後、2009年に結婚しました。義理の両親には病歴を説明し、理解してもらいました。2011年4月に長男が誕生、2014年8月には次男が誕生し、幸福な生活を送っています。この経験を次代を担う子どもに伝えていく義務があると思います。私は骨髓移植を通して命をいただきました。このことを子どもたちに伝えるとともに、他人のお陰で生かされていることを感謝しながら生きていきたいと思っています。



私は38歳で、医療ソーシャルワーカーをしています。16年前に骨髓バンクでドナーから骨髓の提供を受けました。ドナーさんのお話を聞いて、

さまざまな人の思いを受け取っているのだという話をあらためて知りました。私は16歳から献血していました。学生時代の22歳のとき、

1999年5月に献血センターから病院で検査を受けるように言われました。白血球やヘモグロビン、血小板が異常だということです。検査の結果は、慢性骨髄性白血病というものでした。私は自分が死ぬかもしれないという恐怖感に襲われました。

私は大病院に入院して抗がん剤治療を受けていました。完治するには骨髓移植しかないと言われました。まず兄のHLA検査が行われましたが、不一致でした。兄は罪悪感にとらわれたように落ち込んでしまいました。

家族同意と移植で入院

ドナー体験者 深澤 由里恵さん

私は27歳の歯科衛生士です。中学校3年生のときに母がんで余命半年と宣告されました。私は母が亡くなるまでの1年半の間、泣いてばかりいました。病気を闘っている人の力になりたいと思い、献血をするようになりました。

次に「世界の中心で、愛を叫ぶ」を見て、白血病の怖さを知り、また骨髓移植が難しいことも知りました。でも骨髓バンクに登録すれば、いつの日にかドナーになって患者さんを救うことができると思いました。

骨髄バンクへの登録は、20歳にならないとできません。20歳になると、私は骨髓バンクにドナーとして登録しました。

登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。

登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。

登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。



登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。

登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。

登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。

登録しても、すぐにドナーになるわけではありません。骨髄移植には患者さんとの白血球の血液型であるHLAが適合しなければなりません。